

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立共成小学校
校長名 森本 弘子 印

令和6年度 教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調とし、一人一人の児童の多様な個性・能力を伸ばし、変化するこれからの社会をたくましく・しなやかに生き抜く力を育むため、学校・家庭・地域と連携し、児童が安心して自己実現を目指す教育環境を整え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

- ・助け合う子 … 誰かのために自分ができることを考え実行する子
- 考える子 … 思いや考えを共有し、学び合い、認め合う子
- ・きたえる子 … 声を掛け合い一緒に運動し、互いに支え合う子

(2) 特別支援学級の教育目標

- ・友達と互いに仲良くできる子
- ・自分の考えをもつ子
- ・あきらめずに体をきたえる子

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア 個々の障害の程度及び発達段階や特性、保護者の要望を踏まえた個別指導計画を立て、生活に生かしていくための自立活動や言語活動を充実させ、基礎的・基本的な内容の定着を図る。また、年間指導計画を基に主体的・対話的で深い学びの視点に立って、指導内容・方法の工夫、学習過程の改善を推進する。
- イ 教育活動全体を通して組織的・計画的に人権尊重教育・道徳教育を推進し、思いやりに満ちた人間関係を築き、自己肯定感の育成を図るとともに、心身ともに健全でたくましい児童を育成する。
- ウ 児童の自立を促すために、社会参加に向けた長期的な視点を基に、学校生活支援シートを活用し、福祉や医療機関と連携しながら、個に応じた必要な対応を進める。
- エ 体験的な活動や校外学習を通して、社会で生きるために必要な基礎的知識を身に付ける指導の充実を図る。
- オ 総合的な学習の時間での国際理解教育を計画的に実施し、多様な見方や考え方に気付かせるとともに、日本の伝統や文化を大切にする指導を充実する。
- カ 友達のよさを認め、互いに協力し合い、高め合う喜びに気付く教育活動を推進する。
- キ コミュニケーション能力や表現力を育てるとともに、主体的に学習する児童を育成する。
- ク 学校図書館の利用の仕方やマナーを指導するとともに市民図書館等の施設に親しめるようにし、主体的に読書に楽しむ心豊かな児童の育成を図る。また読書・言語への関心を高め、主体的な深い学びにつなげる。
- ケ キャリア教育の視点を取り入れた教育活動を実践し、夢や希望をもてる児童を育成する。
- コ 衣服の着脱や身の回りの整理整頓などの基本的生活習慣や集団生活におけるルールやマナーの定着を図る。
- サ 「元気アップガイドブック」やコーディネーショントレーニングを活用し、主体的に運動する児童の育成に努め、健康で安全な生活を送るための基礎を培う。また、食育教育の充実を推進し、自分の健康を考えられるようにする。
- シ 「グッドモーニング60分」等を活用して継続的に健康教育の充実を図る。
- ス 体力テスト等の結果を分析・活用し児童の実態を踏まえた指導を展開し、健康で安全な生活の基礎を培う。
- セ 不審者対応を含めた安全教育、「防災ノート」や「東京マイタイムライン」を活用し、大きな災害等に備えた防災教育を充実させ、人権や生命の大切さを理解し、よりよく生きていく力を育てる。
- ソ 個々の障害の程度や実態に配慮し、通常の学級との交流を設定するなど、他と関わる場面を増やし、人間関係形成能力を育成する。保護者や児童の思いが実現するよう、保護者や居住地校との連携を密にする。
- タ ICT スキルを系統的・計画的に育み、情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラル教育を推進する。また、「ICT活用マニュアル」に基づく一人1台のタブレット端末を効果的に活用する。
- チ コミュニティスクールの仕組みを導入し、教育活動の公開、学校関係者評価の活用、学習支援ボランティアの活用等、保護者・地域の教育活動への参画を促進し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。